

新宿区民会議第3分科会

「都市基盤の整備と交通バリアフリーに向けた取り組み」

新宿のまちを、より暮らしやすく、より魅力的なまちにするためには…どのようにして都市基盤を整備していけばよいでしょうか？

都市基盤とは

都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保し、良好な環境を維持するための施設です。



道路、鉄道、公園などといった公共施設

本日のテーマ

- 1 効率よく都市基盤を整備するためには、どのような取り組みが必要でしょうか？
- 2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには、どのような取組みが必要でしょうか？

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

新宿区の都市基盤(道路)の整備の現状①

幹線系道路(都市計画道路)

ほとんどが都市計画で定められた道路で、広域的な通過交通を処理する役割があります。

生活道路

自動車の交通のほか、歩行者の通行機能を重視する道路です。

※踏切の問題

ともに主要な都市基盤である、道路と鉄道との間には、道路渋滞の原因となる踏切の問題があります。

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

新宿区の都市基盤(道路)の整備の現状②

道路整備方針図



1 効率よく都市基盤を整備するためには……

新宿区の都市基盤(道路)の整備の現状③



1 効率よく都市基盤を整備するためには……

新宿区の都市基盤(道路)の整備の現状④

主要な生活道路の現状

77路線の生活道路で、現在の整備率は31%に留まっています。

○地区内主要道路(46路線)

生活道路の軸として、歩行者を中心として、身近な生活に利用される道路。

○主要区画道路(31路線)

区画道路の中でも主要なもので、地区内主要道路を補完する役割がある道路。地区主要道路よりも、一層歩行者としての機能を重視しています。

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

幹線系道路(都市計画道路)整備の課題

整備率がまだ低く、現状ではまだ不十分です。

生活道路への通過交通の流入
歩行者の安全性や住居環境へ悪影響
道路渋滞が発生しやすく、経済活動の効率性が低下



- 近隣の住民の方との理解が得にくい
- 用地の取得などの関する事業費が高額

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

都市計画道路…今後の取り組み

- ・事業を円滑に推進していくため、事業計画を十分に説明し理解を得ていくことが必要です。
- ・区の財政や他の施策とのバランスを取りながら、計画的に効率よく着実に整備を進めていきます。

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

主要な生活道路の整備の課題

・主要な生活道路の整備が遅れています。

震災時に消防活動が困難
幹線系道路からの抜け道になり、歩行者にとって危険な道となっている箇所があります。



- 近隣の住民の方との理解が得にくい
- 用地の取得などに関する事業費が高額
- 建替え等にあわせて拡幅するため、早急に整備することが困難。

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

主要な生活道路…今後の取り組み

- ・整備では、地域住民の意向などを踏まえ、地区の交通、道路、土地利用状況などを考慮したうえで、整備していきます。
- ・地域のまちづくりと一体となった整備を進め、その上で、地域環境の向上、防災性の向上も踏まえた整備を進めていきます。
- ・自動車の流入では、自動車の通過交通の抑制や、「コミュニティーゾーン」といった、歩行者空間の整備等の安全確保に努めていきます。

1 効率よく都市基盤を整備するためには……

区内に残された踏切の課題

新宿区内には、今なお14箇所の踏み切りが残されています。

- 道路渋滞の発生
- 地域の分断や生活の不便
- 踏切事故の危険性等の問題が起こっています。



- 採算性などから、事業者の負担が大きく、早急に抜本的な対策を採ることが困難な状況です。

1 効率よく都市基盤を整備していくためには……

今後の取り組み(踏切)

踏切の視認性向上や踏切保安設備の設置等による**安全性の向上**を図ります。

西武線の複々線化事業の再開や、多数の踏切除去が可能な連続立体交差事業について、**関係機関に要望**を行っていきます。

2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには……

・ 高齢者、身体障害者や妊産婦、けが人なども含め、誰もが使いやすい都市基盤の整備が必要です。

・ 特に公共交通機関は、速やかなバリアフリー化が求められており、この**公共交通機関を使った移動円滑化**のことを「**交通バリアフリー**」と呼んでいます。

2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには……

バリアフリーの概念図



2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには……

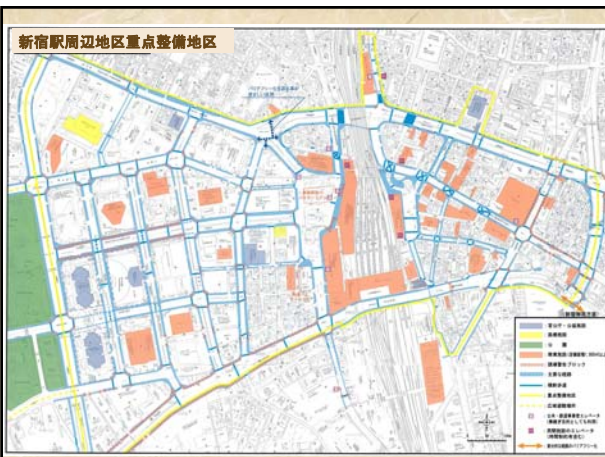
新宿区の交通バリアフリーの取り組み

①基本構想策定によるバリアフリー化

平成17年4月に基本構想を策定し、新宿駅周辺地区と高田馬場周辺地区を重点整備地区として整備を進めています。

②その他のバリアフリーの取り組み(鉄道駅)

エレベーターの設置について必要に応じ補助を行い、バリアフリー化の推進を図っていきます。→平成18年度はJR信濃町駅を予定



2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには...

新宿区交通バリアフリー基本構想 における基本方針

- ① 乗り継ぎのバリアフリー化
- ② 多様で複雑な移動経路(地上・地下等)への対応
- ③ 面的なバリアフリー化(複数ルート確保)
- ④ 多様な関係者の連携
- ⑤ 広域行政体との協力

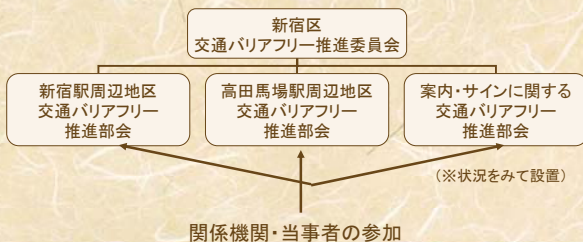
2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには...

交通バリアフリーの課題

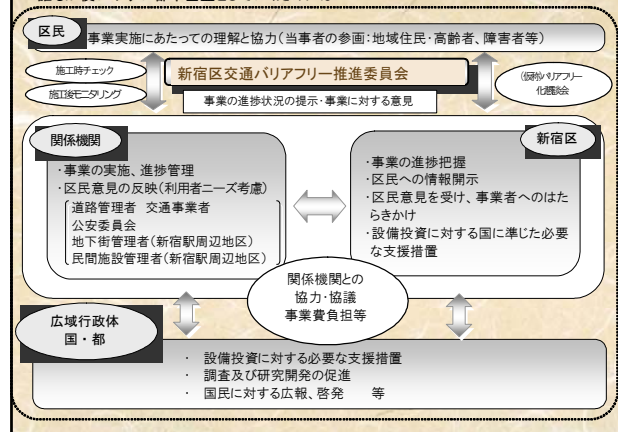
- ・ **関係者間の調整の必要性**
⇒ 関係機関が多数で、多くの取組みを調整して進める必要があります。
- ・ **当事者の参画**
⇒ 利用する様々な人々が参画して、より効果のあるバリアフリー化を進める必要があります。
- ・ **他事業と一体的に検討**
⇒ 関連する様々な整備と一体的に取り組むことによって、より大きな効果をあげることができます。
- ・ **継続的な検討体制の構築**
⇒ 継続して検討していくことにより、絶えず交通環境を改善していく取組みが必要です。

2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには...

取り組み体制



2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには...



2 誰もが使いやすい都市基盤としていくためには...

交通バリアフリーの目標

事業者、当事者、行政が連携体制を維持しながら、平成18年度を目途に事業計画を作成し、平成22年までにバリアフリー化することを目標としています。